

<文化財の種類 無形民俗文化財 記録選択>

名 称	の ましゅつの ししまい 野間出野の獅子舞
所在地	豊能郡能勢町野間出野 <small>の ましゅつの</small>
保護団体	野間出野秋祭り保存会
<p>説 明</p> <p>○行われる時期・場所 野間出野の地元の岩崎神社の秋祭り（10月第2日曜日）に地車の曳行、獅子舞の奉納が行われる。</p> <p>獅子舞については、祭礼当日（日曜日）の午前9時30分頃に野間出野の岩崎神社、午前12時20分頃に野間出野集会所で奉納される。</p> <p>なお、野間出野地区は旧郷社である野間神社の祭礼にも参加しており、4,5年ごとに行われる大祭に地車とともに参加し、野間神社や能勢陣屋で獅子舞を奉納している。</p> <p>○由来及び沿革 野間出野の獅子舞の由来については、能勢の豪族能勢頼次<small>のせよりつぐ</small>が、関ヶ原の戦に徳川方となって参戦し、功をたてて江戸幕府の旗本となって帰国してとき、農民がその功をたたえ、労をねぎらい、また氏神に秋の収穫を感謝し、奉納したのが起源と伝えている。</p> <p>○衣裳・楽器・用具</p> <p>・衣裳 獅子の使い手、囃し方、世話役、総て豆しぼりの手拭で鉢巻をし、上体には、サルジュバンといって、胸も袖口もボタン留めのシャツのようなものを着る。サルジュバンも、股引きも総て黒染。腰は黒の兵児帯<small>へこおび</small>でしめ、腰の脇で結び、その余った部分を前で縄ねりにして、その端を一方の脇にはさむ。足は黒足袋に黒花緒のわらじをはく。なお、赤色に編んだ真田紐を右肩から左脇下にかけて、その先端にはお守袋を付けているが、袋の中には、野間神社の守護札を入れている。それは、地車を曳くとき、負傷をしないためという。警固役は紋付の羽織に袴をはく。</p> <p>・楽器 大太鼓2個（径43cm、胴長さ58cm）、小太鼓1個（径23cm、胴長さ31cm）を細長いバチ2本でたたく。鉦鼓（3本足付、上面径21cm、底面径25.4cm、厚7cm、足高さ2.7cm。裏面周縁に下記のような陰刻銘がある。</p> <p>（右側）参州西尾梅香山縁心寺常住物 十世赫誉代 江戸神田鍛冶町二丁目 施主 鳥居伊兵衛。 （左側）□（「宝」）曆十二壬午歳閏四月吉日 西村和泉守作</p> <p>・用具</p> <p>・獅子頭 獅子頭の耳、たてがみと背から尾まで長さ約8寸の毛を植え付けている。馬の尾毛を用いたものであるという。特に耳の毛は、五色の毛といっている。</p> <p>・行燈 高さ3疋～4疋の青竹のさきに行燈を付けたものを数本立てる。行燈は紙張で、その四</p>	

面に「御神燈」「野間神社」「野間出野」「今月今日」などと墨書する

・提燈 世話役は、1人1張ずつ弓張提燈を持ち、提燈の正面には「の」の字を大きく書いている。警固役の持つ弓張提燈には「警固」と正面に書いている

#### ○構成

獅子は頭役と後役の2人で舞う。そのほかに世話役（付人ともいう）5人、大太鼓打2人、小太鼓打2人、鉦打2人、主として青年男子で構成している。世話役は、獅子の舞っている間の世話をするものであって、その人数は定まっているわけではない。

#### ○演目

この獅子舞は、大太鼓と小太鼓と鉦鼓の鳴り物だけである。太鼓の「ケン、コン、トン」の強弱、遅速のリズムに乗った鳴り物とはやし方は「ヨラ舞え、ソラ舞え、ドンと舞え」の掛け声に応じて舞う。

はじめは眠っているところから、目が覚めると周囲の様子をうかがい飛び交う蠅を払い、徐々に生気がよみがえると、ついに怒り狂ったように舞う。獅子頭役は両手で頭を持ち、上半身を使って勇壮に舞い、後役は肩車に頭役を持ち上げて場所を替え、ときには直立して歩く場面もある。頭役と後役の息が合わないと怪我の恐れがあるくらい勇壮な舞である。約40分かかる。

#### ○評価

現在も府内で行われている獅子舞は十数か所程と限られており、その中でも野間出野の獅子舞は能勢町野間出野地区で今も地域で大切に伝承されている。

伝承されている曲は1曲で楽器は太鼓の鉦の打楽器のみという素朴で勇壮な獅子舞である。しかし、後役が獅子頭役を肩車するなど曲芸的な部分もある。

また、獅子はたてがみから尻尾まで、五色に染めた馬の毛が植えられている。府内では大阪市城東区諏訪神社の獅子と当地の2例だけで貴重である。

大阪府における民俗芸能の変遷過程を知る上で貴重なものとして、記録選択の措置を講ずるものである。

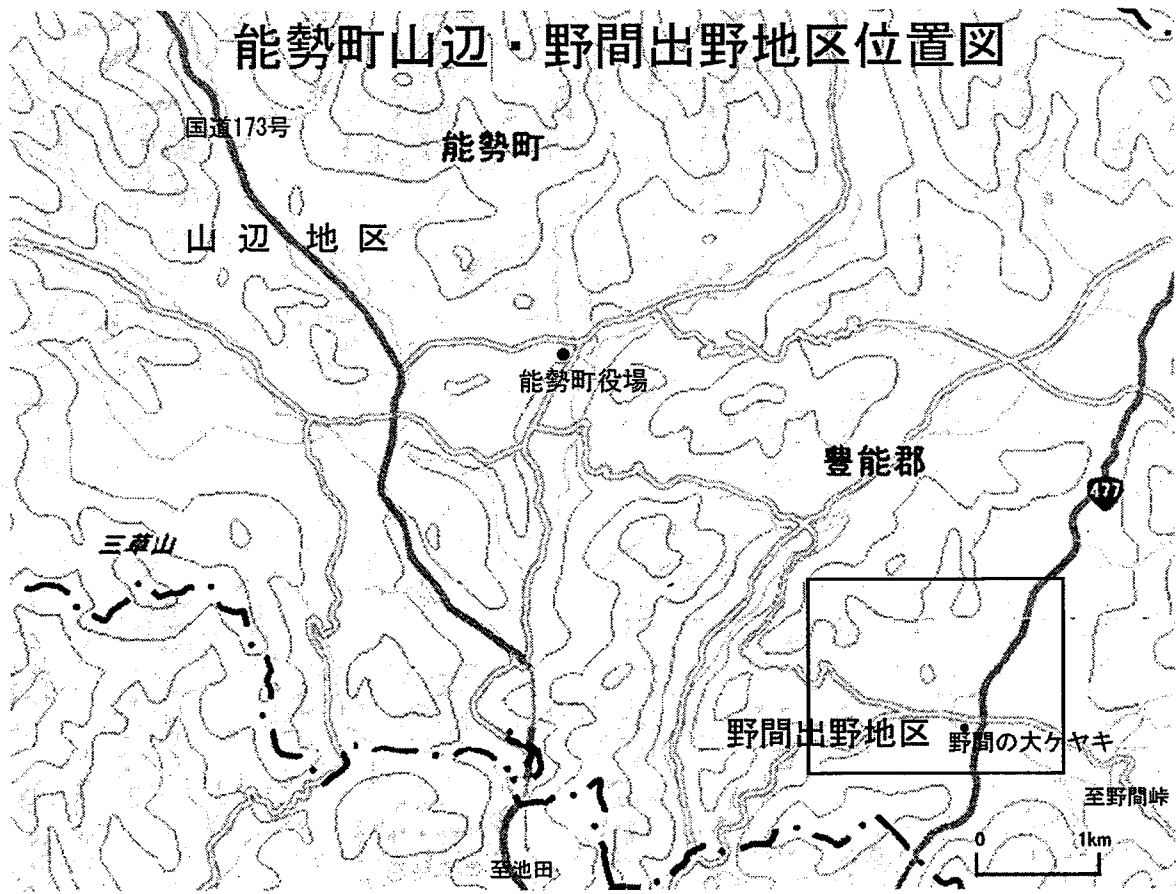
#### [備考]

能勢町指定無形民俗文化財 平成20年2月28日指定

#### [参考文献]

能勢町史編纂委員会『能勢町史』第5巻（資料編） 能勢町 1985

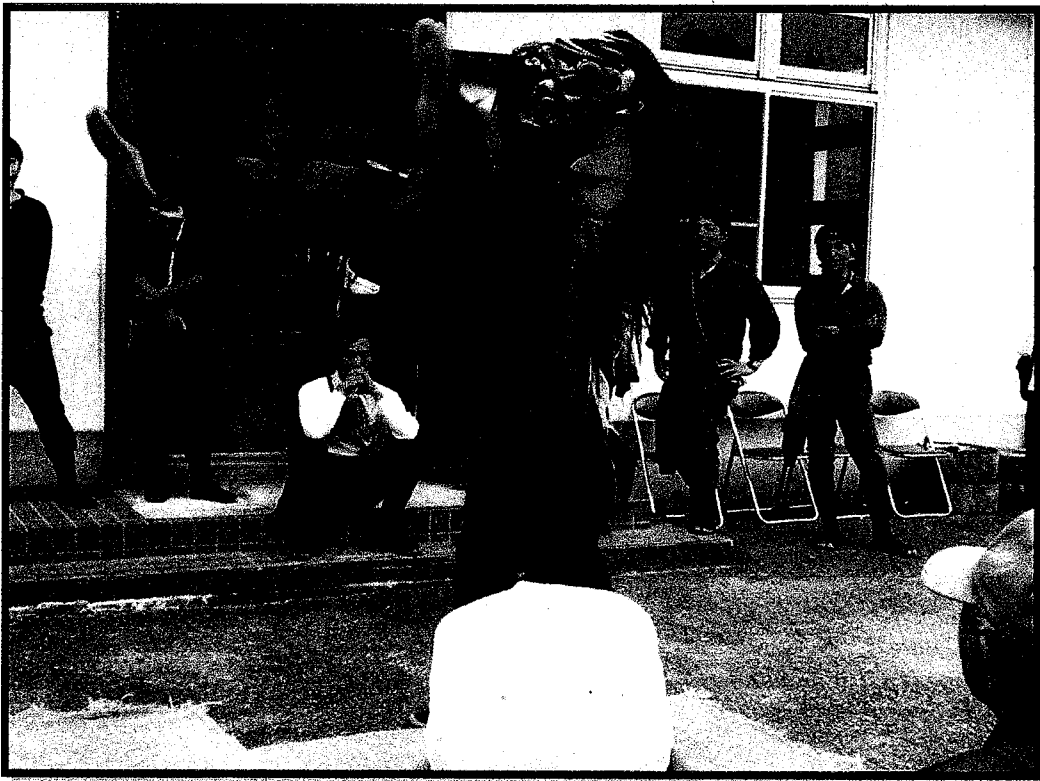
塩田豪一 『能勢の浄瑠璃史』資料編一 能勢町教育委員会 1996



能勢町山辺・野間出野地区位置図（上が北）



野間出野の獅子舞奉納場所位置図（野間神社・岩崎神社）（上が北）



野間出野の獅子舞  
(平成27年10月11日撮影)